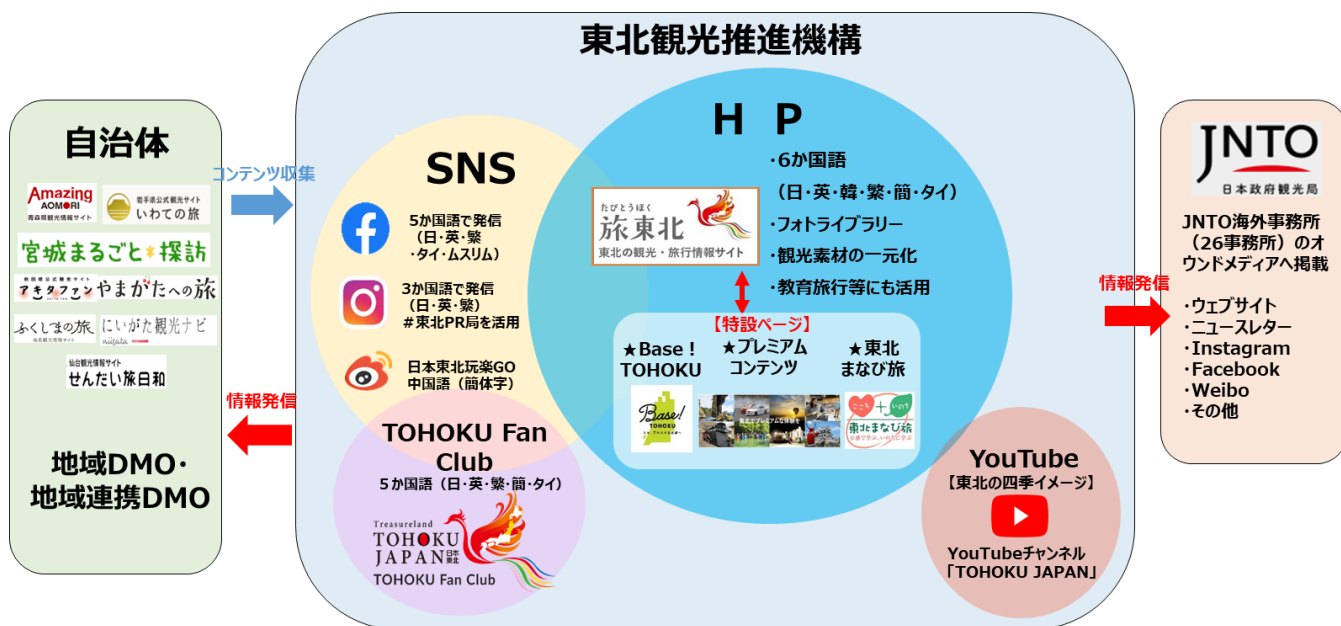


《巻頭特集》 旅東北ホームページ・SNS等による情報発信の取組み

東観推では、ホームページ、SNS、TOHOKU Fan Club、Youtube等のメディアを活用し、日本語及び多言語で東北の観光情報等を幅広いユーザーに対し重層的に発信することで、東北への興味関心及び旅行意欲の向上を図ることとしています。



【デジタルプロモーション展開構図】

◆旅東北ホームページ

域内観光のゲートウェイ機能を持つ東北の観光・旅行情報サイト「旅東北ホームページ」では、東北の観光情報を集約のうえ多言語で常時掲載することにより、国内外に向けた情報発信を行っています。

モデルコースや特集記事を掲載しているほか、教育旅行専用サイト「東北まなび旅」や「Base! TOHOKU」特設サイト、東北プレミアムコンテンツなど、東観推の各種事業とも連動させながらプロモーションを行っています。

また、プロモーション等に活用いただける観光素材（フォトライブラリー）の掲載も行っています。



【旅東北トップページ】【フォトライブラリー】

◆SNS

東観推が運用するInstagramやFacebook等のSNSでは、今年度より、グリーンシーズンの魅力を発信するため、3月から8月にかけて集中的に関連コンテンツを投稿しました。加えて、テーマに沿って東北の複数エリアやコンテンツを横断的に組み合わせた縦型ショート動画の投稿も開始しました。

◆CRM、JNTO海外事務所等と連携した情報発信

CRMシステム「TOHOKU Fan Club」も活用し、国内外の会員（ファン）に向けて東北の観光情報やイベント情報を発信するとともに、海外の現地ニーズに応じた東北の魅力を訴求するなど、効果的な情報発信にも取り組んでいます。



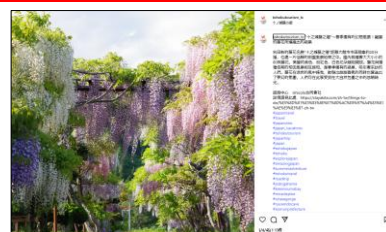
【SNS投稿 きりたんぼづくり体験（6/27）】

グリーンシーズンPRの取り組み

東北の外国人延べ宿泊者数は5月から9月が比較的少ない傾向にあることから、グリーンシーズンの魅力を発信するため、各県や仙台市から情報提供いただいた「グリーンシーズンならではの」のまだ知られていない東北特有のコンテンツを、主にインバウンド向けSNSを通じて発信しました。

3月から8月にかけて計69件のコンテンツを投稿しました。全体としては、定番の観光スポットや藤・蓮といった花の名所のリーチが高かったほか、みちのく潮風トレイルや水辺に関するコンテンツも、リーチ・エンゲージメントの両面で成果を得ることができました。

さらに、実際の来訪を想定した具体的な質問や、「行ってみよう」といった来訪意欲を示すコメントも寄せられました。



【十ノ瀬藤の郷（秋田県）】



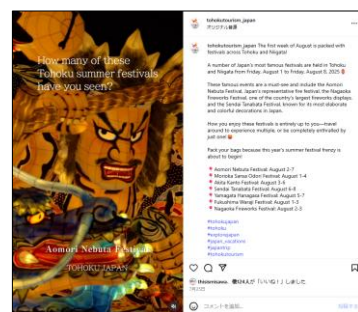
【みちのく潮風トレイル】

縦型ショート動画

今年度から、各SNSアカウントにおいて縦型ショート動画の投稿を開始しました。「夏の絶景」「水辺のアクティビティ」「夏祭り」といったテーマに沿って、東北各地のエリアやコンテンツを横断的に組み合わせ、東北全域のPRにつなげる内容としています。

中でも「夏祭り」をテーマにした動画は、国内向け・インバウンド向け双方のSNSアカウントで高いリーチを獲得しているほか、来訪意欲を示すコメントや質問も通常の投稿と比べ多数寄せられています。

来訪につながる効果的なプロモーションとして、今後も継続して発信を行ってまいります。



【動画：東北の夏祭り】

JNTO海外事務所等と連携した情報発信

JNTO海外事務所等、連携している観光関係者のリソースを活用し、海外の現地ニーズに応じた情報発信に取り組んでいます。

◆TOHOKU travel information

SNSで好評なコンテンツや体験型コンテンツなどを、毎月、季節に応じた特定のテーマに沿ってまとめ、ニュースレターの形式でJNTO海外事務所、JR東日本・航空会社の海外事務所等へ発信しています。

SNSへの掲載や関係者への共有など、横展開につながっています。



【TOHOKU travel information 5月：新緑のスポット】

◆SNS連携

JNTO賛助団体・会員専用窓口ページの「情報発信（一般観光情報）」に東観推のSNSに投稿した記事を活用し、東北の観光情報を随時登録しています。

今年度はグリーンシーズンに体験できるコンテンツを中心に9月2日時点で51件登録を行った中、中国やフランス、インドネシア、カナダなどのJNTO海外事務所のSNSやウェブサイトにも84回掲載され、東観推の通常のSNSフォロワー以外へのPRにもつながっています。

東観推では今後も関係団体の皆さまと連携しながら国内外に向けて情報発信を進めてまいります

★東観推では各言語ごとにSNSを運用しております。旅東北NEWS最終ページにリンク・QRコードを掲載していますので、ぜひご覧ください。

★「#東北PR局」を付けていただいたSNSの投稿をリポストさせていただいております。

詳細は旅東北NEWS最終ページをご覧ください。

◆インバウンド

- ・7/27-8/1 香港OTA招請

香港のオンライントラベルエージェント2社2名を招請し、「食」と「東北ならではの体験」をテーマに、岩手・宮城・山形・福島および仙台市の視察を行いました。

特に高い評価を得たのは岩手県宮古市の「さっぱ船体験」で、迫力ある三陸の海を間近に感じられるアクティビティは「商品造成に直結する」との声をいただきました。また、山形県での山形牛焼肉は、グルメ志向の香港人に好評で、東北の食材の質の高さに大きな驚きを示されました。

訪日経験が豊富な香港人にとっても、日本の定番グルメは「何度でも食べたい」との評価があり、東北の食の魅力を改めて実感いただく機会となりました。今後も旅行会社との連携を深めながら、東北の魅力を積極的に発信してまいります。

- ・8/22 台湾観光セミナー・商談交流会 in 仙台
- ・8/23~24 2025台遊館 in 仙台

8月22日にホテルメトロポリタン仙台において、台湾観光庁・台湾観光協会主催の「台湾観光セミナー・商談交流会in仙台」が開催されました。台湾の最新の観光トピックスが紹介されたほか、東北の旅行会社約50名と台湾観光サプライヤー約20名の商談が活発に行われました。

翌23日、24日には、仙台市のアエル広場にて台湾の魅力PRイベント「2025台遊館 in 仙台」が開催されました。好天に恵まれ気温が上がる中でも、道行く人が足を止め、台湾名物の食べ物に舌鼓を打ったり、台湾旅行情報が掲載されたチラシを手取るなど、大変な賑わいを見せました。

東観推では今後も、東北・新潟の各県はじめ地域のみならずと一丸となり、台湾と東北・新潟との双方向の交流拡大に努めてまいります。

- ・8/27 中国アウトドアコンテンツオンラインセミナー

中国市場に向け、東北エリアにある多種多様なアウトドアコンテンツを広く発信するセミナーをオンラインで開催しました。

当日は、アウトドアツアーを取り扱う現地旅行会社、アウトドア愛好家クラブ、スキークラブ等、計27社47名の方々が参加しました。近年、中国市場において「アウトドア」は大きなトレンドとなっており、これまで継続的にプロモーションを行ってきたスノーアクティビティに加え、トレッキング、マラソン、ゴルフなど、東北ならではの多彩なアウトドア体験について紹介を行いました。また、プレゼンテーションとあわせて東北に関するクイズも実施し、楽しみながら東北への理解を深めていただくことができました。



【仙台朝市場での視察】



【塩釜神社での視察】



【台湾観光セミナー】



【2025台遊館】



【オンラインセミナーの様子】

◆人材育成

- ・8/1 第2回フェニックス塾を新潟市で開催しました

東北の観光を担う若手の育成を目的とした第十期フェニックス塾の2回目の塾を新潟市のガレツソールにて開催しました。

第一部セミナーとして、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 副理事長の蔵持京治氏による「なぜ東北にインバウンドが必要なのか～東北観光振興に必要となる視点～」と題したご講演をいただきました。

第二部の塾生によるワークショップでは、今後の提言に繋げる第一歩としての「現状の確認、課題の洗い出し」の観点でディスカッションを行い、各グループで活発な意見交換が交わされていました。次回の第3回塾は、9/18-19の盛岡開催です。



【第一部 セミナーの様子】



【第二部 ワークショップ】

◆教育旅行

・8/19 日修教シンポジウム

日本科学未来館（東京）で開催された第18回教育旅行シンポジウムに参加しました。主催の日本修学旅行協会からは、近年の教育旅行における諸課題について発表があったほか、パネルディスカッションでは、学校、旅行会社、受入観光地等の代表者が登壇し、様々な立場の視点から今後の修学旅行のあり方や課題について活発な議論が交わされました。学校関係者や旅行会社ら約150名が来場された中、東観推ではブースを出展し、東北教育旅行のPRを行いました。



【シンポジウムの様子】

・8/21～23全修教 東北招請

全国修学旅行研究協会の監修・協力のもと、東北への教育旅行誘致を目的とした学校関係者向け東北教育旅行現地研修会を宮城県及び福島県にて実施しました。

東松島市で震災・防災学習の説明会を実施したほか、双葉町周辺では震災遺構や伝承施設を巡るホープツーリズムを実際に体験しました。その後、会津地域に移動し、鶴ヶ城や日新館の見学、赤べこの絵付け体験など、地域に根付いた文化や歴史を辿るコンテンツを視察・体験しました。

ホテルメトロポリタン仙台（仙台市）など各県の宿泊先で開催した教育旅行セミナーでは、宮城・福島だからこそ学べる震災学習・探求学習を受入団体から紹介いただき、参加された先生方から高い評価をいただきました。



【視察の様子】

◆欧米豪向けアドベンチャートラベル（AT）を契機とした東北の魅力向上事業

・7/18～8/12 ワークショップ

八戸・盛岡・鶴岡・仙台の4会場において、AT旅行商品造成に向けた課題の抽出、ATコンテンツになり得る観光資源の洗い出し、ATモデルコースの作成を目的としたワークショップを開催し、延べ55団体75名の方にご参加いただきました。

（株）インアウトバウンド東北代表取締役の西谷雷佐氏に講師を務めていただき、『ATについての基本事項』『ATの事例紹介』『AT商品造成のポイント』について講義いただきました。その後のグループワークではATモデルコースの造成を行い、それぞれのコースについて西谷氏よりフィードバックをいただきました。

グループワークを経て、ワークショップ終了後も参加者同士で積極的に意見の交換がなされ、ATについて学ぶ他、参加者同士の関係構築の面でも有意義なワークショップとなりました。



【仙台会場の様子】

・8/20、8/26～8/27 ATガイド研修

<第1回>

北海道アドベンチャートラベル協議会事務局長の菊地敏孝氏を講師にお招きし、オンラインで第1回研修を開催しました。27団体31名の方にご参加いただき、『ATとは』『ATガイドの役割』『ツアーオペレーター側から求めるATガイドの役割』『ATにおいて地域資産を活かすために』について解説いただきました。ガイド目線でATについて講義いただいたことで、参加者にとって新たな視点での学びが多かった研修となりました。

<第2回・3回>

盛岡・仙台の2会場で、（株）ツアーデザイナーズ代表取締役の宗像愛氏をお招きして研修を行いました。『ATにおけるストーリーテリングについて』

『Adventure Week 沖縄で得た経験』『沖縄のATツアーの事例』などで講義いただき、その後、提示されたATツアーに対しArc of the Story（起承転結）を基にストーリーテリングを組み入れるグループワークを実施しました。いかに参加者の心に残るツアーにするかを重点的に講義いただき、参加者にとり、新たな学びとなりました。

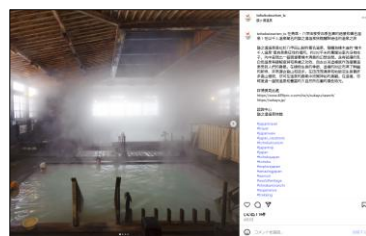


【第2回研修盛岡会場の様子】

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

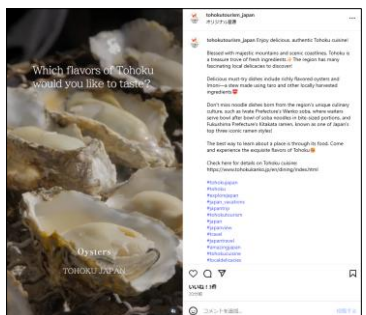
	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (日本東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.facebook.com/tohokutourism.tw/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (Tohoku Tourism_Japan) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_japan/	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【酸ヶ湯温泉（青森県）】



【新庄まつり（山形県）】



【動画：東北のグルメ】

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関係する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいたものの中から、素敵な投稿をリポストさせていただきます。（リポスト前にはメッセージで許諾を取らせていただきます）

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

外国人向けフリーバスチケット「TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET」

訪日外国人を対象に東北域内の高速バスと一部の一般路線バスがチケット有効期間中、乗り放題となる企画乗車券「TOHOKU HIGHWAYBUS TICKET」を販売しております。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【発行】（一社）東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【Email】 info-ttpo@tohokutourism.jp

【TEL】 022-721-1291 【FAX】 022-721-1293

